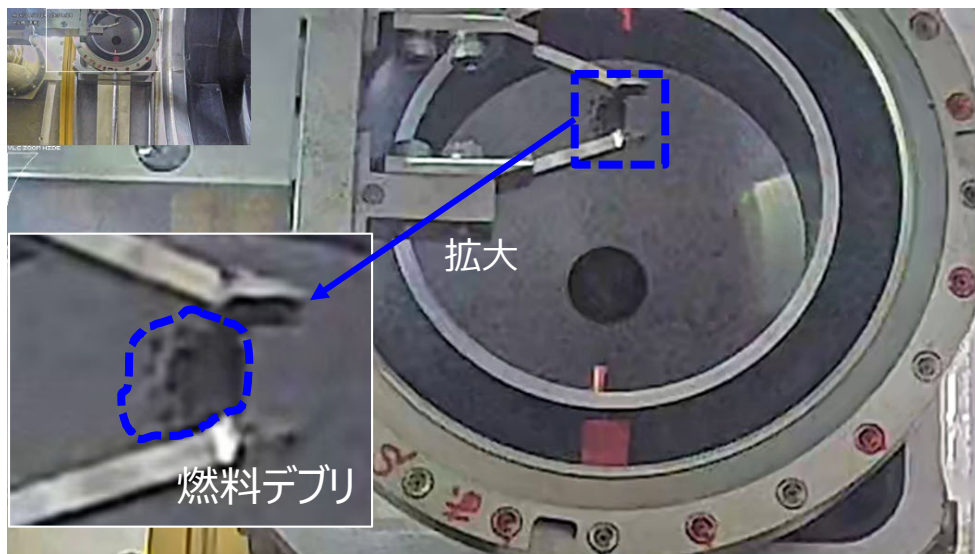
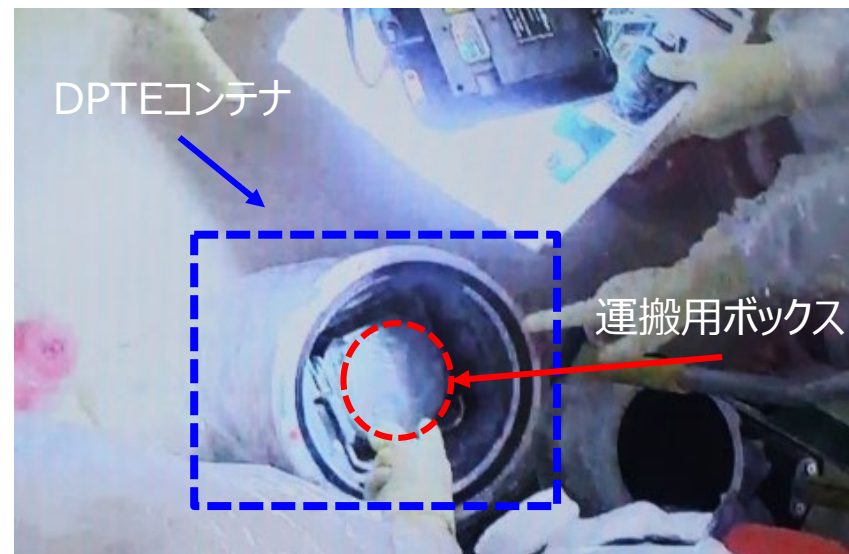


- 11月6日に、燃料デブリ回収可否の判断基準「線量率24mSv/h（20cm位置）以下」であることを確認したことから、把持した燃料デブリを運搬用ボックスに回収しています。
- 11月7日は、エンクロージャ側面ハッチを開放後、エンクロージャ外へ運搬用ボックスを取り出し、DPTEコンテナへ収納しています。（2号機燃料デブリ試験的取り出し作業の完了は、運搬用ボックスをDPTEコンテナへ収納したタイミングをもって完了となります）
- 現在、グローブボックス内にて重量などの測定を行い、構外輸送に向けた準備を進めています。その後、構外分析施設にて燃料デブリの詳細な分析を行う予定です。



把持した燃料デブリを運搬用ボックスに回収する様子
撮影：2024年11月6日



運搬用ボックスをDPTEコンテナへ収納する様子
撮影：2024年11月7日